

グローバル探究コース TODAY

「国語探究」の授業

9月28日月曜日の7限目、1年生は国語探究の授業。今年の担当は藤本絢也教諭。生徒は図書館に集合しグループ毎に着席した。今回の授業のテーマは「ルール」。前時に生徒が作成したおもしろいルールが紹介されると爆笑が起こる「成績上位者は髪型自由」など。藤本教諭からは考察の視点が示され、新たな問いが提示される。「ルールは何のためにあるのか？」自分で考える時間が与えられる。その後「対話」がスタート。グループの中ではぼつりぼつりと発言が始まる。しかし、そのうちに白熱



していく。藤本教諭はグループを回りながら、生徒の声に耳を傾け、「秩序を守る。うん。じゃあ、秩序って何？」と新たな問いを投げかける。先生も生徒は図書館の大辞典など開いて調べ始める。このような生徒の活発な「対話」を引き出す授業。藤本教諭はこのような授業を行う上で、生徒にとって安心で安全な空間づくりを心砕く。「君たちが話さずらい、話したくない、話さなくていいやと感じるのはどんな時か」と問いかけ、その逆も考えさせる。このような日頃の取組の中



グローバル探究コース CHALLENGE

で、生徒が安心して自分の考えを相手に伝える雰囲気醸成されていくと感じる授業だった。

高校生平和大使

1学年林田さん(植木北中出身)は、熊本県の高校生平和大使23代長崎派遣メンバーの一人として活躍中です。林田さんはメンバーとして8月9日の原爆の日を長崎で迎え、爆心地公園での若者早朝集会やその後のフィールドワークに参加しました。9月19日(土)に実施された活動



林田さん(植木北中出身)

【指導者コメント】「ビリョクだけどもリョクじゃない！」を合い言葉に、「高校生1万人署名活動」などの取り組みを通して林田さんの思いをクラス全体、学校全体へと広げていってくださることを期待しています。

州立モンタナ大学オンライン学習プログラム

8月17日(月)〜20日(木)の4日間、熊本県と姉妹提携を結んでいるアメリカのモンタナ州にある州立モンタナ大学の英語の授業を、1年生2名が受講しました。これは熊本県教育委員会が主催するプログラムで、県内の希望者から選ばれた40名が受講するオンライン研修です。



林田さん(植木北中出身)

参加した中野さん(鹿本中出身)と林田さん(植木北中出身)は本校の図書館でパソコンと向き合い、ZOOMを使って他の参加者といっしょに様々な課題に挑みました。

【指導者コメント】

例年であれば、州立モンタナ大学現地で受ける研修でしたが、今回は新型コロナウイルス拡散防止のために、オンライン研修になりました。パソコンに長い間向かい合うのは大変そうでしたが、よく最後までやり遂げてくださいました。

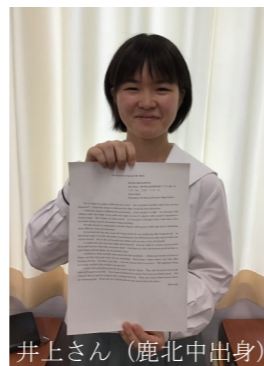


中野さん(鹿本中出身)

第59回全国高等学校校生徒英作文コンテスト

全国英語教育研究団体連合会主催のコンテストに、1年生の井上さん(鹿北中出身)が応募しました。作文のタイトルは「The Book that Opened My Mind」で、現代文の授業で学習した「羅生門」を題材として取り上げました。善と悪は紙一重であることや、人によって善と悪の解釈が異なることなど、作品を通して自分の考えが深まったこと

を英語で綴りました。



井上さん(鹿北中出身)

【指導者コメント】

これまでこんなに長い英文を書いたのは初めてだという井上さん。辞書をひきながら何度も書き直し、やっと366wordの英作文を完成した時の喜びは大きく、達成感に満ちあふれていました。これからも様々な活動に主体的にチャレンジしていってくださると願っています。

第33回熊本県高等学校英語スピーチコンテスト

9月19日(土)に実施されたコンテストに、1年生の松房さん(鹿北中出身)が出場しました。ス



松房さん(鹿北中出身)

【指導者コメント】

原稿作成や発表練習を通して、現代社会に目を向け、課題に気づき、改善策を自ら考えるという深い学びを實現しました。また、他校生徒の発表を聞くことは大きな刺激になったことと思

鹿本高校の挑戦はウェブサイトを更新中!

https://sh.higo.ed.jp/kamoto/



います。これからも挑戦する気持ちを大切に、この経験を自信につなげてくれると願っています。